



補習校だより

平成24年度 第20号

平成24年9月22日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

校長携帯 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

日本人コミュニティとしての補習校の在り方

先週PTA主催のバザーが行われました。朝早くからPTAの皆さんが準備に奔走し、いつも朝礼を行う広い部屋があつという間にバザー会場へと変身しました。今度はテーブルごとに出品する種類の紙が貼られ、出品者が中心に品物を並べていきます。見る見るうちに部屋が店舗のようになりました。出品されていたものは子供服が多いものの、身の回りの物から台所用品、本や雑誌、DVDまで様々でした。

バザーが始まると、たくさんのお客さんといっても補習校関係者がほとんどですが、今年度はJBAと借用校にも招待状を出したので関係者以外の方もいらっしゃいました。そして思い思いに商品を選ばれて購入されていました。ここで、はたと気が付きました。バザーという形式はとっていますが、商品の多くは日本の物（本やDVD、台所用品など）です。それを求めて来られるのですから、さながらマイアミの日本スーパーマーケットにいるみたいでした。つまりここは子どもたちが学習するだけの場ではなく、日本人コミュニティとしての意味合いも強くあるんだなと痛感しました。今後も補習校が日本人のために何ができるかを考えてまいりたいと思います。

校長 永井 晋



(準備の様子)



(お客さんでいっぱいです)

通知表の形式

今年度より、通知表をデジタル化します。昨年度までは手書きの通知表でしたが、今年度からはパソコン入力にします。手書きには手書きの良さがありますが、何より転記ミスをなくし、誰にも見やすい通知表にすることが目的です。日本でも行政により差はありますが、パソコン入力の通知表がほとんどになっています。前期の通知表はそのまま厚めの紙に印刷されます。後期はそこに上書きで印刷は困難なため、別の薄い紙に印刷し、前期の通知表に挟む（貼り付ける）ことで対応します。 (小1で読み聞かせをしました) 内容自体に変更はありません。但し、幼稚部の通知表は内容を変更します。文部科学省の教育要領に沿って、5観点で評価を記述式で行います。くわしくは幼稚部だよりでお知らせします。



どの子どもにも来週担任が手渡しします。